

# ユーザー を訪ねて

No.163

## あらゆる精密金属加工を 株式会社ヒリュウ精工

今回のユーザーを訪ねては、浜名湖の西に面する湖西市の湖西工業団地内にある株式会社ヒリュウ精工を取材いたしました。取材には白井繁充社長にご対応頂きました。昭和35年に白井社長の実父である白井弥市氏が、研削加工を主体として白井研削工業所として創業しました。この工業団地のすぐ西側にはスズキ株式会社湖西工場があります。湖西市は、自動車部品工業の盛んな土地ですが、現在同社は電子機器部品製作を中心に業務を展開しています。マシニングセンタ、NC旋盤、ワイヤー放電加工機、汎用フライス、汎用旋盤、ボール盤など約100台の機械設備を有し、「試作から量産まで、アルミ、ステンレス等の精密金属加工は当社にお任せ下さい」と自社の特長をホームページに掲載しています。



▲工場全景

### マツウラとは汎用機からのお付き合い

マツウラは昭和49年3月に日本初の立形マシニングセンタ**MC-750V**を開発しました。そして同年10月には**MC-750V**の3号機を同社は設備されました。

「創業当時は、自動車部品を行っていましたが、仕事の幅を広げる為に昭和46年ごろから電子機器部品の仕事を行うようになっていきました。そしてアメリカ向けの特定品を受注しましたが、その部品には細い電線が使われるのでバリがあってはいけない、また非常に精度が高く、更に軽量化を求められる薄い形状でした。当社の設備は汎用機が殆どで、この部品に要求される精度と品質の加工が出来ませんでした。白井会長はマツウラの汎用機を使っていたので工作機械メーカーのマツウラは知っていました。そして、マツウラがマシニングセンタを開発したとの話を聞き、まだ一般的ではなかったマシニングセンタの導入を決断し**MC-750V**を設備しました。**MC-750V**によりこの部品製作を行うことが出来、また当社の業務内容を自動車部品から電子機器部品製作に変更

するきっかけとなりました。現在、自動車部品製作は九州に移行しているのもし自動車部品を作り続けていたら九州に工場移転をしていた可能性があります。その意味で、当社が湖西市で業務が出来るのも**MC-750V**のお陰です。老朽化により**MC-750V**を工場から廃棄する時は、様々な思いがよみがえり、つらい思いをしました」と白井社長。

### 「晩節を汚す勿れ」との戒めを胸に

社長室に“晩節を汚す勿れ 平成15年11月1日 白井弥市”との書が掲げられています。

「白井会長が、会社を潰してくれるなどの思いで書いたものです。この書を見て経営者として勇気を奮い起こしています」。

「ITが普及し始めた時に、光ファイバーケーブルの中継器部品製作を行いました。大手通信機器メーカー各社が光ファイバー敷設競争になり、すごい量の仕事が入ってきました。更に海底ケーブルの部品も受注しました。しかし、海底ケーブルは一度海底に沈めるとメンテナンスが出来なくなるので20年保証のため高精度を要求されました。光ファイバーも海底ケーブルも部品にはバリがあると不良になるので切削加工ではなくワイヤー放電加工にて製作することを決断。一度に20台のワイヤー放電加工機と多数の量産対応自動機を設備しました。売上げは、すごい勢いで伸びていきましたが、平成12年ITバブル崩壊が起こり、売上げが1/5まで減少。この書は、最も厳しかった時期に創業者が書いたものです。賞与を出せない程大変な時期もありましたが、難局を乗り越え現在に至っています」と白井社長。



▲白井社長

### 高齢者や女性が活躍する職場

同社の加工は4つのグループに分かれています。旋盤、

## お任せくださいと宣言する

ワイヤー放電、マシニング、そして研磨グループです。

「当社は、お客様からの要望に対してノーとは言わない方針を取っています。すなわち、困っている時の駆け込み寺のように、なんでもやりますと宣言しています。それゆえ難しい仕事の依頼が殆どですが、当社は断らないのでお客様は安心して仕事を依頼して下さいます。また産業機械メーカーから、スマートフォンの部品を作る産業機械に必要な部品製作依頼があり、その部品は極小で、かつ高精度を求められます。それらの部品加工には、研磨工程での熟練した技術が必要で、ベテランの職人が行っています。彼らは60歳を過ぎて70歳に近い社員もいますが大事な戦力です。彼らには好きなようにやってくれと言って仕事を任せています」と白井社長。

電子部品関連の部品では、加工後のバリがあると不良となります。しかし、部品が小さい為に機械加工でバリを取るには限界があります。同社では、20人の女性社員が顕微鏡を使って、一つ一つ手作業でバリ取りを行っています。手間が掛かりますが、この徹底した品質管理が同社の強みです。

### 5軸制御立形マシニングセンタ「MX-520」導入

「何でもやりますと宣言しているの、様々な加工依頼があります。最近では5軸加工が必要な部品もあり、5軸制御のマシニングセンタを設備しなければと考えていました。しかし、設備投資金額の問題もあり苦慮していましたが、ものづくり補助金制度を使って平成26年11月にMX-520を導入しました。国産5軸加工機メーカーは多くありますが、今までの信頼があり何も心配はいらないと迷わずマツウラに決めました」。

「今年12月には5軸制御複合マシニングセンタCUBLEX-63の設備導入が決まっています。この機械はマシニング加工と旋盤加工が一台で加工できる最新の加工機です。この機械導入で更に仕事の幅が広がり、新規ビジネス獲得に期待しています。技術的にはワンチャッ



▲MX-520

## 株式会社ヒリュウ精工 概要

本 社 〒431-0441  
静岡県湖西市吉美3425  
TEL 053-579-0921 FAX 053-579-1586

U R L <http://www.hiryuseikou.co.jp>

代 表 者 代表取締役 白井 繁充

創 業 昭和35年5月

設 立 昭和57年10月

従 業 員 60名

事 業 内 容 電子機器部品製作、治工具の製作及び・組付け、精密金属部品製作、超硬ゲージ等製作、建設機械部品製作



▲MC-800VF

クでマシニング加工と旋盤加工が行えるので部品精度が向上し、省力化も図れます。当社で働く息子に「仕事がないのに何故導入するのか」と聞かれたが、「将来ビジネスの進展を考え決断した」と答えました。設備導入後には、営業と同行して私自ら営業活動を行うつもりです」と白井社長。

\*\*\*\*\*

工場に入ると、昭和49年に設備されたMC-750Vは廃棄されていましたが、それ以後設備されたMC-500V、MC-760V、MC-800V、そしてMX-520など7台が稼働していました。白井社長から、各機械に対する思いをお聞きし、同社とマツウラの約40年以上の関係に感慨深いものを感じました。工作機械メーカーとして、同社の歴史と共に歩んできたことを嬉しく思った取材でした。



▲A軸テーブルが付加したMC-800VF